

## 第13回 EST交通環境大賞

# 「離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み」



2023年7月18日

T-PLAN株式会社  
一般社団法人姫島エコツーリズム

■ 会社概要

社名	T-PLAN 株式会社
本社	大分県中津市牛神404-11
設立	2006年3月
資本金	3480 万円
代表取締役	寺下 満
社員数	26 名 (役員・社員)



事業内容  
自動車、電機関連メーカーへの技術支援  
発電・水処理プラント、通信設備の点検保守、現地調整  
蓄電システム「青空コンセント」開発・販売  
再エネ電動モビリティ実証、導入支援

■ 受賞歴

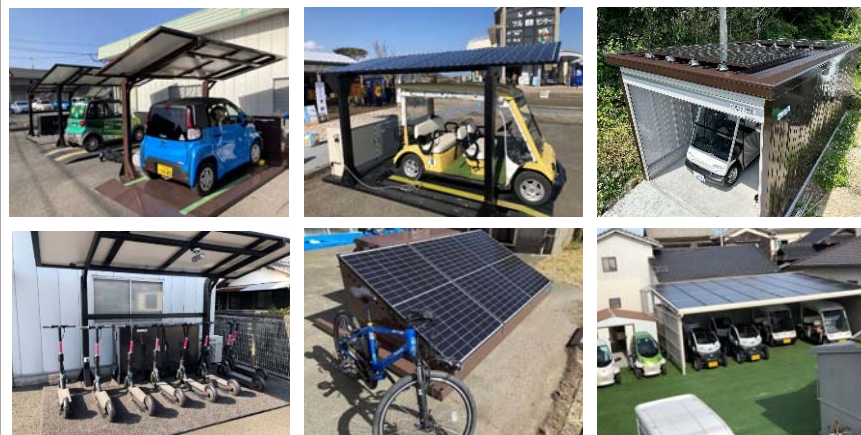
- 2014年 低炭素杯2014 ファイナリスト出場  
・青空コンセントと超小型モビリティによるエネルギーの地産地消
- 2017年 第8回EST交通環境大賞「奨励賞」受賞 (国土交通省)  
・青空コンセントと超小型モビリティによる低炭素交通社会の実現
- 2017年 低炭素杯2017「優良賞」受賞 (環境省)  
・青空コンセントと超小型モビリティによるエネルギーの地産地消
- 2017年 大分県知事より「感謝状」拝受  
・先進的な環境技術の開発と率先導入による大分県づくり
- 2018年 おおいた低炭素杯2018「大分県知事賞」受賞 (大分県)
- 2019年 低炭素杯2019「環境大臣賞グランプリ」受賞 (環境省)  
・青空コンセントと超小型モビリティ活用による低炭素な地域づくりと地域活性化  
・応募総数 全国1,425団体
- 2023年 第13回EST交通環境大賞「国土交通大臣賞」受賞 (国土交通省)  
・離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み



低炭素杯2019  
環境大臣賞グランプリ受賞

■ 「青空コンセント」の実装

電動小型モビリティ向けオフグリッド充電システムです。  
運用中はゼロカーボン・ドライブを実現、非常用電源としても有効です。



■ 脱炭素な地域の新たな移動創出

持続可能な地域づくりを目指し、小型EV活用による地域の新たな移動の創出に取り組んでいます。



フェリー乗場から観光客の送迎



グループホームで活用



公共交通への接続



国立公園内の移動

## 詩情と伝説の島「姫島（ひめしま）」

- ・古事記や日本書紀にも登場する詩情豊かな神秘スポット。
- ・古事記の国産み神話でイザナギとイザナミが12番目に産んだ島が女島（ひめじま）とされる。
- ・姫島産の黒曜石で作られた石器が中国、四国の縄文時代遺跡から発見されている。



国東半島の沖合約6kmに位置する離島



大分県国東半島の北、  
周防灘と伊予灘の境界に位置する離島

一島一村の離島、大分県唯一の村



国指定天然記念物「姫島の黒曜石産地」  
(瀬戸内海唯一の産地)

おおいた姫島ジオパーク（2013年9月14日認定）



国選択無形民俗文化財「姫島盆踊り」



姫島「車えび」



渡り蝶「アサギマダラ」(5月、10月)



姫島へのアクセスは伊美港より



伊美港より約20分 (1日12便)



## ■ 取り組みの背景

### 1. 環境問題への意識

- ・地球温暖化による環境の変化
- ・再エネを自家消費する取り組み
- ・EVを再エネで走らせる取り組み



### 2. 地域課題の現状

- ・観光2次交通としてタクシー、バスが無く、移動手段はレンタル自転車のみ
- ・島内の移動に時間を要して観光や食事の時間が取れない
- ・高齢者や体が不自由の方、子供がいる家族連れには移動負担が多い島

## ■ 取り組んだこと

### 1. 脱炭素社会の実現

- ・再エネ蓄電システム開発とEVによる実証（ゼロカーボン・ドライブ）
- ・電動モビリティによる新たな移動の創出

### 2. 離島における持続可能な地域づくり

- ・観光2次交通の提供（EVレンタカー）
- ・地域活性化「姫島モデル」づくり



## ■ 姫島エコツーリズム設立

### ◆ 2014年6月～ 姫島エコツーリズム推進協議会

構成員：T・プラン株式会社、株式会社おおいた姫島、姫島観光LLP  
「島の風」、姫島村商工会、姫島女将の会「きちよくれ」  
NPOグループホームひだまり、かなんど工房  
アドバイザー：姫島村役場、大分県東部振興局  
事務局：T・プラン株式会社

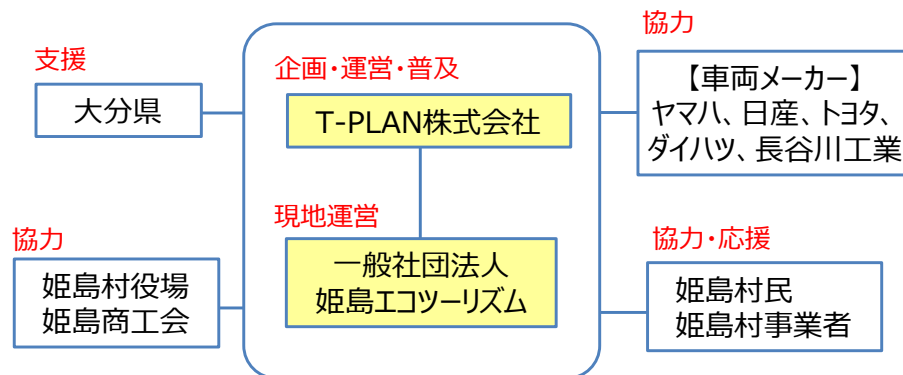
### ◆ 2021年10月～ 一般社団法人 姫島エコツーリズム

構成員：T-PLAN株式会社、株式会社おおいた姫島、NPOひだまり、島の風  
事務局：T-PLAN株式会社

## ■ 沿革

- 2013年 7月 蓄電システムと小型EVによる実証スタート
- 2013年 8月 離島での観光2次交通の課題解決に向けて取り組み
- 2014年 6月 姫島エコツーリズム推進協議会 設立
- 2015年 4月 姫島エコツーリズム（EVレンタカー）事業開始
- 2018年12月 おおいた低炭素杯2018「大分県知事賞」受賞
- 2019年 2月 低炭素杯2019「環境大臣賞グランプリ」受賞
- 2021年10月 一般社団法人 姫島エコツーリズム 法人化

## ■ 実施体制





■ 姫島エコツアーリズム (EVレンタカー受付)

- ・貸出場所 大分県東国東郡姫島村2069 (姫島港フェリー乗場から徒歩1分)
- ・連絡先 TEL 0978-87-2022 / 080-6452-0263
- ・利用時間 9:00~18:00 (最終受付 17:00)
- ・店休日 不定休
- ・ホームページ <http://himeshima.tplan0301.com>
- ・運営主体 一般社団法人 姫島エコツアーリズム

姫島エコツアーリズム情報サイト  
姫島の魅力をエコカーに乗って案内!



YouTube



Instagram

■ 姫島エコツアーリズムはこんなところですよ



2015年レンタルスタート



手作りお土産も販売



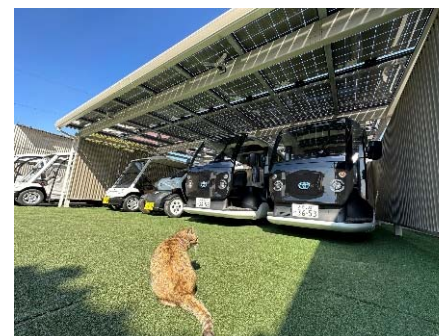
2階はオーシャンビューのフリースペース



青パイナップル栽培も頑張っています



カフェでは季節限定メニューも



毎日のパトロール中です





## TOYOTA コムス

- ・原付ミニカー
- ・1人乗り
- ・最高速60km

1時間 2,200円  
2時間 3,300円  
日帰り 5,500円



## NISSAN ニューモビリティコンセプト

- ・超小型モビリティ
- ・2人乗り
- ・最高速80km

1時間 3,300円  
2時間 5,500円  
日帰り 7,700円



## YAMAHA ランドカー

- ・グリーンスローモビリティ
- ・4/7人乗り
- ・最高速19km

L4 1時間 4,400円  
2時間 6,600円  
日帰り 9,900円  
L7 1時間 5,500円  
2時間 8,800円  
日帰り 13,200円



## TAJIMA ジャイアン

- ・超小型モビリティ
- ・2人乗り
- ・最高速45km

利用停止中



## SEGWAY MAX PLUS

- ・特定小型原付
- ・1人乗り
- ・最高速20km

1時間 1,100円  
2時間 1,650円  
日帰り 3,300円

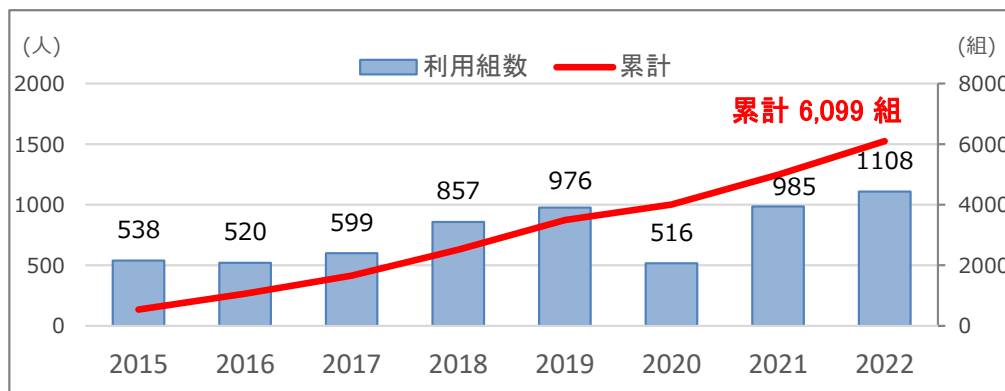


## TOYOTA APM

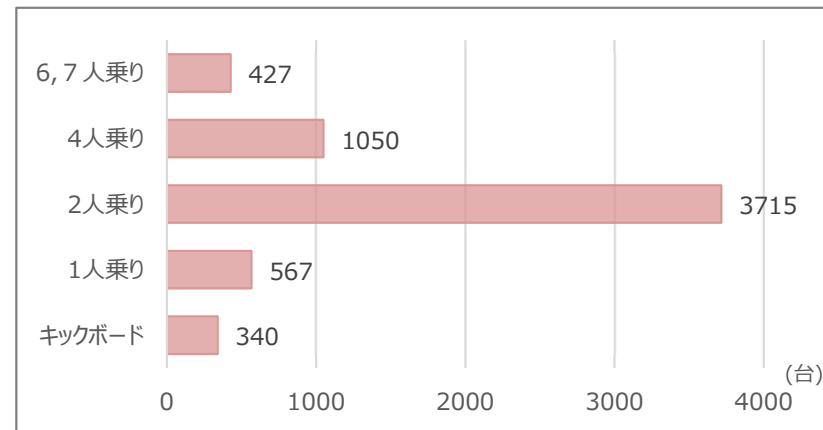
- ・グリーンスローモビリティ
- ・最大6人乗り(車椅子1台可能)
- ・最高速19km

1時間 5,500円  
2時間 8,800円  
日帰り 13,200円

◆ 利用組数

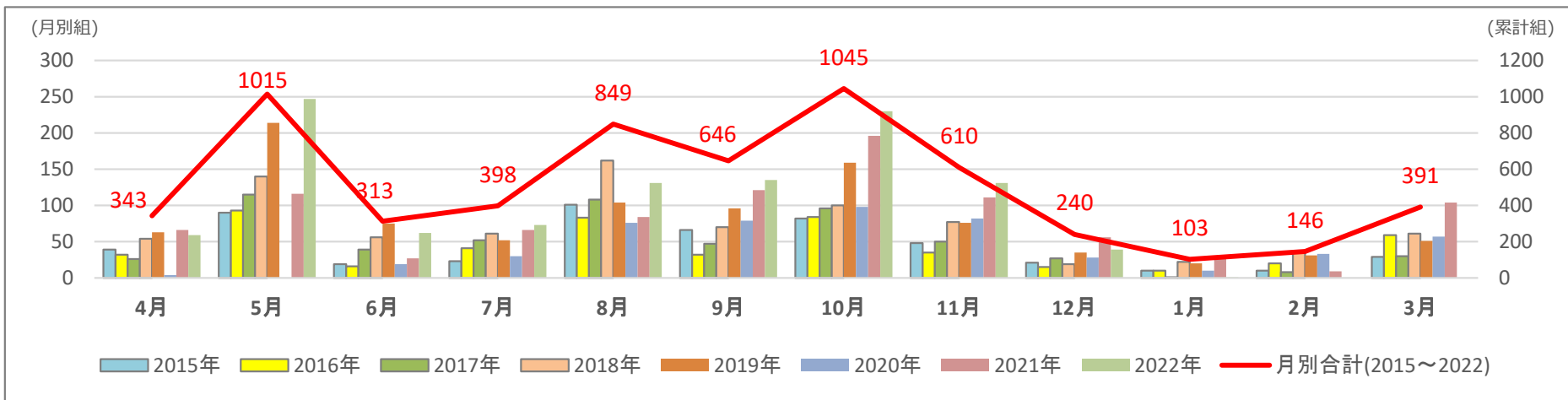


◆ 車種別利用数 (参考)



◆ 利用組数 (月別)

※2020年4~5月 新型コロナ感染症拡大防止のため営業自粛





## ■ 電動モビリティから日常の電力まで

2018年11月より、姫島で走行する小型EVレンタカーはすべて再生可能エネルギーで充電されています。



車両は全て再生可能エネルギーで充電！



事務所の電気も再生可能エネルギーを利用！

姫島エコツアーリズムで走る小型EVは、太陽光で自家発電した再生可能エネルギーですべて充電しており、受付事務所の電気にも利用しています。

運用開始	2019年1月
総発電量	38,883kWh
自家消費量	24,617kWh
再エネ充電走行距離	49,981km

※2022年12月末現在

## ■ 観光の足から地域の足へ

離島における二次交通の課題解決から、ファースト/ラストワンマイルの移動を支える地域の新たな移動を創出



島内周遊のレンタカー



フェリー乗場から繋ぐ二次交通



集配や配達



グループホームで活用



高齢者の外出支援



診療所への送迎（自家用有償）

## ■モニターツアー実証（継続中）

### 【ゆる旅 in 姫島】

課題であった車椅子の方の小型EVでの観光周遊と、リモートガイドを取り入れた新たな観光のあり方を実証



トヨタAPV 2020東京オリパラ大会専用車



オンライン観光コンシェルジュの取り組み。ガイドはリモートで



### 【VANKation in 姫島】

Withコロナ・afterコロナ時代を踏まえ、自分の好きな時間に働きながら観光するという

ニューノーマルなライフスタイルをVANKationというスタイルで、新しい働き方・観光の方法としてその有効性を実証



EV軽トラにモバイルワークステーションを搭載



島内のお気に入りの場所でワーク



島内のお気に入りの場所でカフェ

■ 持続可能な地域づくりと脱炭素な移動を目指して

【主な実証支援例】



大分県日田市  
(集落から最寄駅をつなぐ)



福岡県田川郡添田町  
(限界集落と町バスをつなぐ)



佐賀県鹿島市  
(丘陵地帯の住宅街と駅前をつなぐ)



福島県東白河郡塙町  
(病院⇔JR⇔道の駅をつなぐ)



福岡県田川郡添田町  
(駐車場より観光客送迎/送迎サービス)



鹿児島県出水市  
(パーク&ライドでツル観察/レンタカー)



大分県竹田市  
(JR駅から城下町～観光名所/観光タクシー)



熊本県阿蘇山上  
(牧野道の有効活用/ガイドツアー)

■ 持続可能な国に向けて

(独立行政法人国際協力機構) 2021年度第一回中小企業・SDGs ビジネス支援事業  
パラオ国小型電気自動車、太陽光充電システム、姫島モデルを活用した温暖化対策案件化調査



2022年(令和4年)11月2日(水曜日)

# 大分T-PLANの脱炭素モビリティ

## 「姫島モデル」パラオ輸出へ

大分県北部の離島、姫島村ではEVが観光客の重要な移動手段になっている(10月)

大分県北部の離島、姫島村ではEVが観光客の重要な移動手段になっている(10月)

EVで使う電気は「青空コンセント」でまかなう(10月、大分県姫島村)

「再生エネの自給自足モデルを確立し、持続可能な脱炭素社会の実現を後押しする」。寺下彌社長はこんなビジョンを掲げ、生まれ故郷でのエコツーリズム事業を進めて

大分市中部からJR「マエヒをたどり味わえ

大分県北部の離島、姫島村ではEVが観光客の重要な移動手段になっている(10月)

EVで使う電気は「青空コンセント」でまかなう(10月、大分県姫島村)

「再生エネの自給自足モデルを確立し、持続可能な脱炭素社会の実現を後押しする」。寺下彌社長はこんなビジョンを掲げ、生まれ故郷でのエコツーリズム事業を進めて

2022/11/2 掲載 (日本経済新聞社)

Vol. 18 / No. 06 website: http://www.islandtimes.org email: islandtimes@gmail.com & islandtimeslink@gmail.com (subscription: 12 pages /06)

# ISLAND TIMES

Palau

FRIDAY  
November 25, 2022

## PPUC's deteriorating fuel cargoline poses environmental hazard; Governor Simer

BY L.N. BIKELAI

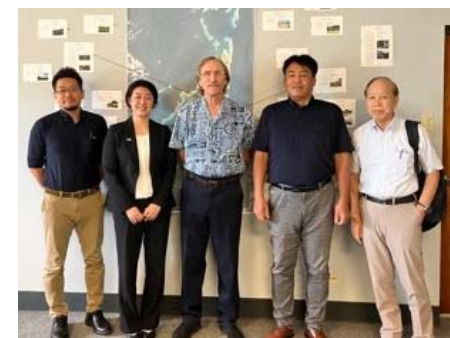
Install New 10" Cargoline

### US urges WCPFC to make climate change an important issue during the meeting

BY L.N. BIKELAI

### EV - Electric vehicles showcased in Palau

BY L.N. BIKELAI



202/11/25 掲載 (アイランド・タイムス)

# 可能性感じ姫島へ

## エコツーリズム取り組む会社に勤務

今春、姫島村に移り住んだ伊井誉思香さん。姫島エコツーリズム事務所



新潟市出身の新卒社会人、伊井誉思香さん(25)が今春、姫島村に移り住み、エコツーリズムに取り組む会社で働き始めた。人口2千人弱の同村でインターンは過去5年間に3人のみ。伊井さんにとって村は夢をかなえるための「可能性にあふれた島」に映るという。公私でどつぷりと島に漬かるつもりだ。

### 新潟市出身の伊井誉思香さん(25)が移住

### 「地域に役立つ人間に」

高校卒業後、韓国の大学に留学。ヨーロッパやアジアなどを訪れ、ボランティアにも力を入れた。卒業を控えた昨年、就職活動を通じて、姫島村でEVのレンタカー事業を営む技術コンサルタント業「T・プラン(中津市)」と出合った。同社は同村出身の寺下満さん(44)が社長で、「『お金ではなくお客さんのために』『島で事業展開し、貢献する』といった考え方にひかれた」という。今年4月に入社し、総務部をもじった「創夢部」の名刺を手間と認められるために、また同村へ派遣された。電気自動車(EV)の貸出所で事務を担う他、農業参入で

(中谷悠人)

始めた青パパイア栽培も任されている。伊井さんは留学先で「夢をかなえた人がその過程を伝える仕事がある」と知り、憧れたという。カフェ経営、旅館のおかみさん。「関心の赴くままいろんな夢を実現し、将来、夢を持つ大事さを伝えられるようになりたい」と話す。

知り合った村民からの飲み会の誘いなどには積極的に顔を出し、友人もできた。一方、地域の話題についてもいけずには派しこともあ

合いが深い点は韓国と似ていて好き。本当の意味で仲間と認められるために、また同村に役立つ人間になりたい



地元の雇用創出と女性活躍



大学生インターシップ研修



協議会の開催で多数の来島者



国際学生の環境研修や合宿



ミス・アース・ジャパン大分の環境研修



青パパイア栽培でCO2吸収と特産品開発

**ご清聴ありがとうございました**